



(Isle-Adam)

かんしょう
「感傷主義」

院長 西 田 敬

既に秋は立ち、感傷の季節は始まった。積年の思慕も蓋し虚しからざらん乎。語らいの途中で話しの腰を折り、恋仇の元へ慌しく駆けつけんとするリュセンヌを辻馬車まで送り届けて平然と部屋に戻った詩人マキシミアン。読止しの詩編に束の間、目を遊ばせ、便箋にスコットランド風景を詠った詩文を数行、書き散らし、「扱、如何も胸苦しい夜だ」呟いて、藝術家は机の抽斗から取出した小さな拳銃を手に傍らのソファーに悠然と腰を卸し、そして…自らの胸を撃ち抜いた。これが詩人の最期である。仏蘭西文学界の珠玉とも云う可きリイル・アダンの短編「感傷主義」の粗筋。唯心的な詩人の考えが何処までも唯物的とも云える恋人の思惑と噛合わない儘に迎えた結末には遣切れぬ想いも残る。幾らかでもの救いになればと、作者が結びに書き添えた句には…以来、女は常に黒尽めの喪服を身に纏った。引きも切らず次々と現れる恋人達が理由を訊ねると「でも、私には黒が似合うのですもの」陽気に応えた。然し、喪の扇は彼女の胸の上で墓石に戯れ翹う、黒胡蝶の翼

のように慄えていた。

マキシミアン君然り、若きウエルテル君もまた…。積年の思慕も蓋し虚しからん。思慕が断切られた時、必ず死を選ぶ。然までにも西洋の男は一途で初であったの歟。然も、リュセンヌにシャルロッテ、夫々実は憎からず思われていた女性を遺して。

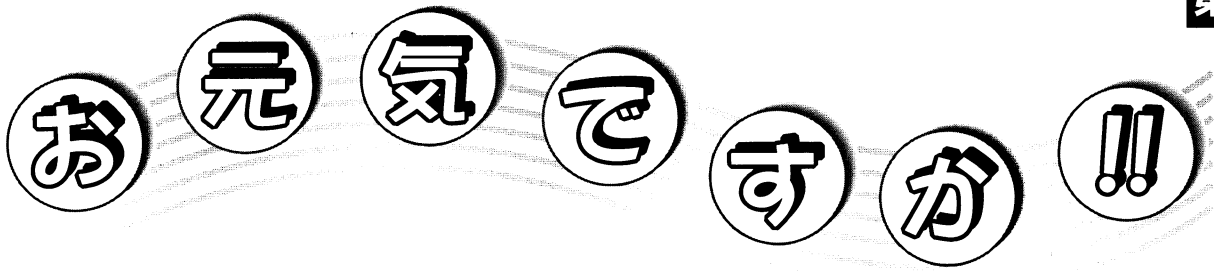
日本男児には恧麼ひ弱な者は居らん。いんや居った、もっと遥かに豪傑が。平家一族の若武者にして武骨一邊の齋藤瀧口時頼。六波羅でも随一の豪勇を以って鳴響いた凜凜しき丈夫。身の丈六尺(180cm)に及ぶ。この一邊倒君があろうことか、白拍子に一目惚れ。春鶯囀の舞、一指で六波羅一の武士を蕩かした横笛は、ホンの小娘、弱冠16歳の武邊一途に君に仕えんとする23歳の硬骨漢と弱やかなる白拍子、不釣合は一目瞭然。哀れを託つのは戀の鳩毒を淬も残さず飲み干した齋藤瀧口時頼。齡古稀にも及ぶ父、左衛門茂頼の下を去り出家して乞食坊主に身を窶す。

驕る平家は久しからず。折しも平氏は没落の一途に。生命を賭しても守る可き主君、三位中将平維盛に先立たれた事を知った瀧口入道、「許し給え」の一言あって、直ちに見事に後追い割腹自殺。戀に望みを失いて、世を捨てし身の世に捨てられず、主家の運命に殉じた齋藤瀧口時頼が浮世の最期であった。

明治の世に満天下の女性の紅涙を絞った高山樗牛の名作「瀧口入道」の粗筋。夫にしても相手を見よ。年増の人妻や十六小女郎じゃないか。洋の東西を問わず色戀沙汰に身を窶し、可惜命までも賭する若者は確かに常軌を逸しとる。



第217回



◎◎ 麻酔科医が教える麻酔のお話 ◎◎

麻酔科医長 中村 浩司

体の中に残った弾丸を取り出す。強い酒を流し込み、ついで口に布を噛ませる。数人がかりで痛みから逃れようと動く体を押さえつける。西部劇で見たことがあるだろう。史実なのか知らない。ここでは酒が麻酔の代わりだ。当然今はそんなことしない。麻酔はすっかり進歩した。

研修医の頃、大学教室の掃除に駆り出されたときのことだ。当時から見て20数年前の、古い麻酔記録が出てきた。趣が違っていった。麻酔をかけ始めてから手術が始まるまで、手術が終わってから麻酔が醒めるまでが異様に長い。随分とのんびりした時代だったのだなと思った。

手術前の高齢者に問診していると、古い時代の麻酔の話を知ることがある。自身の親が麻酔が合わずに目覚めないうちに逝ってしまったとか、そんな話だ。使っている薬もがらりと変わっているので、今回の手術に参考になる情報はあまりない。当時はそういうこともよく起こっていたんだろうなと思う。

麻酔科医になって10年の若輩だが、その間にも麻酔の潮流にはちょっとした変革があった。ある麻酔薬が日本で認可され、使えるようになったのだ。麻酔薬の発展は薬効消失の速さに焦点が置かれてきた。キレがいいほうがいい。体に蓄積しにくいのであれば、手術の間は覚醒遅延を気にせず深い麻酔がかけられる。どっぷりと、痛みも音も、光も届かない深みへと沈める。それが仕事だ。

薬剤や機器の進歩の恩恵は計り知れないほど大きい。それでも手術や麻酔の危険はゼロにはならない。最近の調べでは手術を受ける方の0.07%が

亡くなるのだそうだ。多いとみるか少ないとみるか。当然ながら不健康な人ほどリスクは高い。ネットで調べた情報で恐縮だが、毎日飛行機に乗って、墜ちるのは400年に1度くらいらしい。確率にして0.0009%。そうか、飛行機よりは危険なのか。

ひとつの生命が0.07%だけ失われる、ということはない。飛行機に乗って体のほんの一部が削られたと感じる人もいないだろう。当人にとっては起こるか起こらないかである。0か1かだ。だから手術室へと運ばれる人。これから麻酔され、外科医によって切られる人には緊張が伴う。しかし程度は様々だ。御守りを固く握ったまま目も開けられない人もいれば、飲み食いの制限がかかったからせめてと、手術前に外で一服やっていた人もいた。緊張や不安を解く言葉はないかいろいろ探した時期もあった。が、見つからないので途中で諦めてしまった。

アメリカの大スター、マイケル・ジャクソンが麻酔薬の誤った使用で亡くなった。「ミルク」と形容されたその薬は日本でも使われている。何度か麻酔の説明の時に話題に出したことがある。スーパースターと同じ経験ができると喜んだ人がいた。そんなこと言われてもなという顔をする人が多い。若い年代の中にはそもそも彼を知らなかったのもいた。反応を見るのをちょっと楽しみにしている。

手術の前、麻酔についてわからないことは何でも聞いてください。知っている範囲でお答えします。ちなみに麻酔医が用いれば、「ミルク」はおおむね安全です。

手術室で会いましょう。



リハビリテーションのお話

済生会日田病院リハビリテーション部

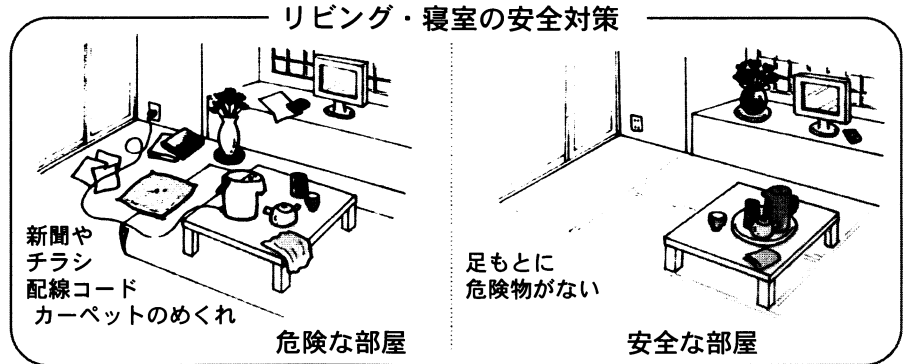
第6回 住まいの安全対策

理学療法士 久恒 健

高齢者の転倒の要因は様々です。転倒された状況を聞くと、「足がもつれた」とか「ちょっとした段差につまずいた」などと話される方がほとんどです。一般に高齢になると、骨、筋肉などが弱まり、神経の働きも衰えてきます。それと共に平衡感覚も低下します。そのような高齢者にとって、転倒は大変危険なことなのです。転倒の際の骨折によって寝たきりになることもあります。今回は、高齢者の転倒の原因である身の周りの環境に着目した住まいの安全対策をいくつかご紹介します。

1. ベッドや布団の周り、居間には障害物を置かない。

散らかった部屋や廊下には転倒の原因がたくさん潜んでいます。新聞を踏んで滑ったり、物を避けようとして転んだり、カーペットのめくれや延長コードに足を引っ掛けたりします。普段過ごす生活空間はいつも整理整頓し、歩きやすいように配置しましょう。



2. 色調や照明を工夫する。

高齢者は若い人比べて視力が弱くなっています。明るいところから暗いところへ、逆

に暗いところから明るいところへ出た時、目がなれるのに時間がかかります。足元の凸凹も分かりにくいこともあるので、転倒の危険のある玄関や階段などは、明るい照明にしましょう。また、壁や廊下の境目、廊下と階段の境目、段差のあるところなどは、同じような色合いではなく、違いがわかるように色合いを工夫すると、注意が向き易くなります。

3. 床を滑りにくくする。

廊下にワックスなどをつけ過ぎて滑り易い状態になるのを避ける、また水などをこぼしたら確実にきちんと拭くなどを普段から心がけるようにしましょう。また、カーペットやマットなどのマット類も意外と滑りやすいので滑り止めシートなどを使用して滑らないようにする、あるいは縁をきちんと固定し平らにして、つまづかないようにしましょう。

4. その他

- ・廊下や階段、浴室、トイレなどに必要に応じ手すりを設置する。

※ なお、各々の高齢者の方などの特徴に応じた手すりの取り付けなど、より具体的な住まいの工夫を行う場合は、理学療法士や作業療法士など専門家に相談することをお勧めします。もしご不明な点などありましたらお気軽にご相談ください。

大分県地域がん診療連携拠点病院 第6回市民公開講座のお知らせ

日時 平成25年10月6日(日)
12時~13時10分

場所 パトリア日田大ホール
(日田市三本松1丁目8番11号)

講演 乳がんについて学ぼう

久留米大学医学部 外科学講座

助教 岩熊 伸高 先生

パネルディスカッション・質疑応答

チームで支える乳がん医療

岩熊先生・済生会日田病院乳腺センタースタッフ

主催 大分県済生会日田病院

共催 市民健康福祉まつり実行委員会

後援 日田市医師会 玖珠郡医師会

日田市 大分県西部保健所

火災予防研修会開催

～消火栓・消火器の使用訓練も実施～

8月29日(木)、日田玖珠広域消防本部予防課の岩里係長を講師に迎えて火災予防研修会を開催しました。放火による火災の対策、火災発生時の留意点、漏電対策、消火器の使い方などのお話があり、天ぷら油による火災発生についてはDVDを見て対処法を学びました。火災のリスクを少なくするために「5つのS」(整理・整頓・清潔・掃除・習慣化)を心がけ、火災上危険な芽を見逃さないようにすることが重要だと、日頃の備えの大切さを改めて感じた研修会でした。また、研修会に先だって消火栓、消火器の使用訓練、26日(月)には全職員による非常連絡網による職員間通報訓練も実施しました。



【 9月・10月の巡回診療日程のお知らせ 】

地区名	診療日	場所	時間
東羽田高花	9月 10月 10日(火)・24日(火)、8日(火)・22日(火)	高花公民館	1:45~3:15
古 後	9月 10月 3日(火)、2日(水)	古後生活改善センター	1:45~3:15

※身体のごことでお悩みの方は、お気軽にお出でください。

*健康保険証、医療受給者証(または高齢受給者証)を持参してください。

*病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。

済生会日田病院の「理念」と「基本方針」

理念 「済生」の心を受け継ぎ、医療と福祉の充実・発展を通して、安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

- 基本方針**
1. 生活困窮者支援事業を推進します。
 2. 信頼される救急医療体制を構築します。
 3. 関係機関との連携を図り、高度医療を提供します。
 4. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実を図り、患者本位の医療を実践します。
 5. 中核病院として、地域の医療水準の向上に努めます。
 6. 総合的な医療の質の管理を行い、健全経営を目指します。

患者の権利と義務

1. 最善で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. 個人として、その人格や価値観が尊重される権利があります。
3. 自己の病気や治療について、説明を受ける権利があります。
4. 自ら治療方法を選択する権利、また自ら治療を拒否する権利があります。
5. 治療に当たり症状を正確に告知する義務があります。
6. 医師の指示に従い、病院の規則を遵守する義務があります。
7. 診療費を支払う義務があります。